

# 第7 救急・救助

---



# 第 7 救 急 ・ 救 助

## 1 救急業務実施体制

令和 5 年 4 月 1 日現在、本県では県内 60 市町村全てにおいて、消防本部により救急業務が実施されている。救急自動車の保有台数は 208 台(うち非常用救急車 38 台)、救急隊員数は 1,972 人(専任 967 人、兼任 1,005 人)である。

また、県内の医療機関総数は 4,957 であり、このうち救急告示医療機関の数は 159 となっている。

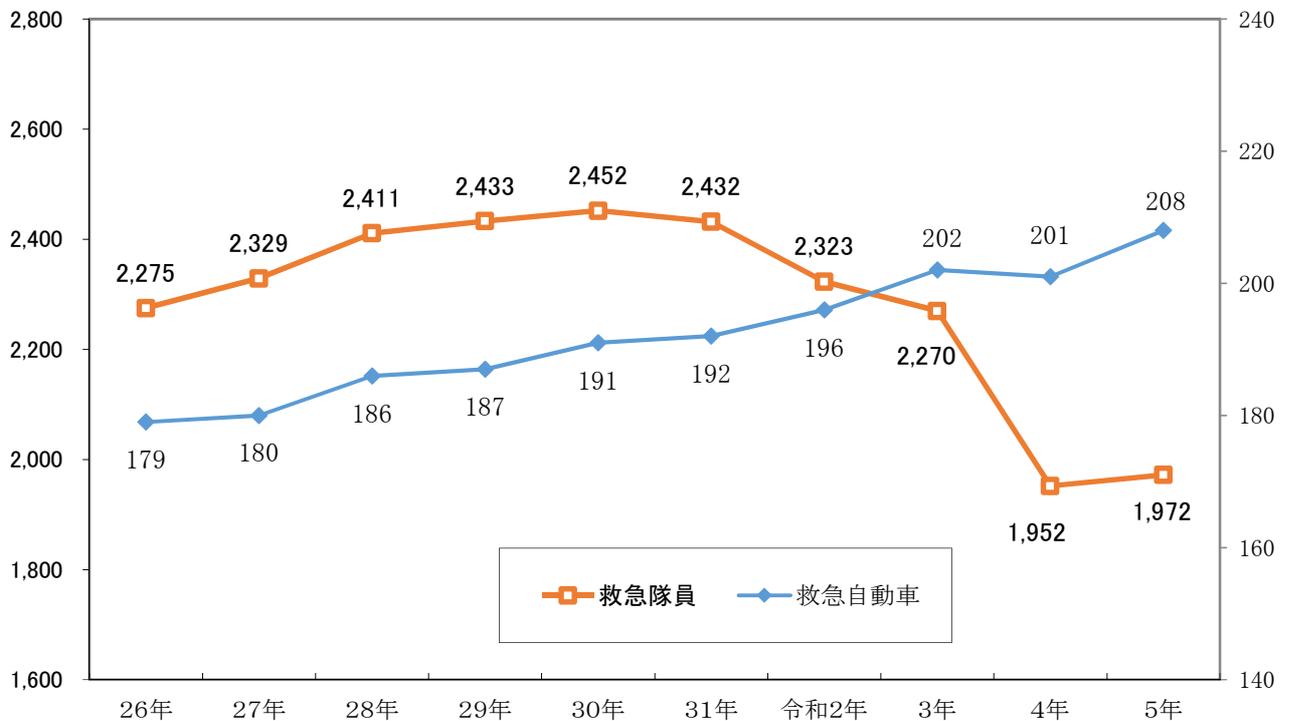
平成 3 年 8 月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

全国の消防職員を対象に救急救命士養成教育機関として、平成 3 年 5 月、全都道府県の共同出資により(財)救急振興財団(平成 25 年 4 月付けで(一財)救急振興財団に移行)が設立され、現在、東京都及び北九州市に研修所が設置されている。

令和 5 年 4 月 1 日現在、県内全消防本部において、合計 889 名の救急救命士が救急業務に従事している。

最近 10 年間における救急自動車数及救急隊員数の推移

各年 4 月 1 日現在



## 2 救急業務の実施状況

### (1) 概況

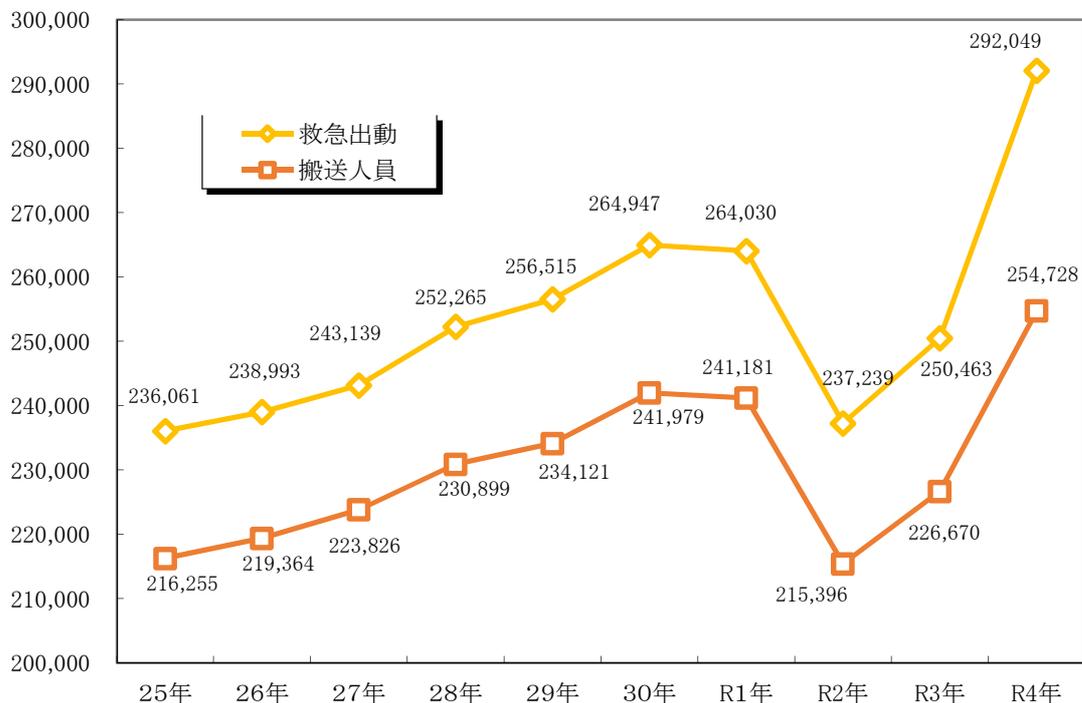
県内における令和4年中の救急出場件数は292,049件で前年よりも41,586件増加している。1日平均800.1件(前年686.2件)、約1分48秒に1件の割合で救急隊が出場していることになる。

事故種別ごとに見ると、前年同様、急病(198,668件)が最も多く、次いで、一般負傷(44,586件)、転院搬送(22,828件)、交通事故(13,783件)の順となっている。

また、県内における令和4年中の救急搬送人員数は254,728人で、前年より28,058人増加しており、1日平均697.8人(前年621人)、約2分04秒に1人の割合で搬送されていることになる。

最近10年間における県下の救急活動の推移は下図のとおりである。搬送人員、出場件数ともに増加傾向にある。

最近10年間における救急活動の推移



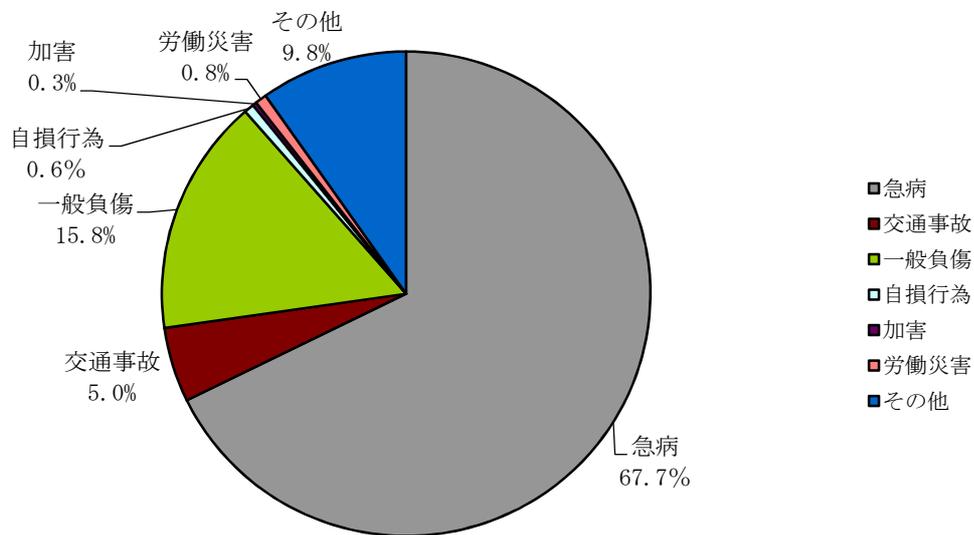
(2) 事故種別、傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

<令和4年中>

事故種別	搬送人員
急病	172,588
交通事故	12,704
一般負傷	40,269
自損行為	1,665
加害	684
労働災害	1,962
その他	24,856

その他内訳	
火災	177
自然災害	32
水難	64
運動競技	1,448
その他	23,135

事故種別搬送人員の状況



搬送人員の状況を年齢区分別に見ると、総じて高齢者が高い比率を占めている。

事故種別・年齢区分別搬送人員の状況

令和4年中

区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児	0	0	0	1	0	0	13	0	0	81	592	687
乳幼児	4	0	1	279	0	2	2,182	6	0	7,776	574	10,824
少年	7	0	5	1,338	10	846	1,101	43	117	4,898	289	8,654
成人	75	4	31	7,644	1,558	503	6,462	504	1,301	51,919	5,535	75,536
高齢者	91	28	27	3,442	394	97	30,511	131	247	107,914	16,145	159,027
計	177	32	64	12,704	1,962	1,448	40,269	684	1,665	172,588	23,135	254,728

(注) 新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

医療機関等への搬送人員は次表のとおり 254,728 人であるが、そのうち 54.53%にあたる 138,915 人は中等症であった。次いで、軽症 (100,911 人 39.62%)、重症 (13,154 人 5.16%) の順となっている。

### 事故種別・傷病程度別搬送人員の状況

令和4年中

区分	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計	構成比
死 亡	2	0	12	23	8	0	153	0	86	1267	22	1573	0.62
重 症	40	0	22	334	121	21	1,498	14	289	8122	2,693	13,154	5.16
中等症	73	20	18	4,206	947	527	20,226	220	686	93513	18,479	138,915	54.53
軽 症	62	12	12	8,136	885	900	18,371	450	602	69,559	1,922	100,911	39.62
その他	0	0	0	5	1	0	21	0	2	127	19	175	0.07
計	177	32	64	12,704	1,962	1,448	40,269	684	1,665	172,588	23,135	254,728	100.0
構成比	0.07	0.01	0.03	4.99	0.77	0.57	15.81	0.27	0.65	67.75	9.08	100.0	

(注) 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの

重 症：傷病の程度が三週間の入院加療を必要とするもの以上のもの

中等症：傷病の程度が入院を要するもので重症にいたらないもの

軽 症：傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他：医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

### 年齢区分別・傷病程度別搬送人員の状況

令和4年中

区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	構成比
死 亡	3	4	9	229	1,328	1,573	0.62
重 症	53	94	110	2685	10,212	13,154	5.16
中等症	557	3,097	2,661	33,372	99,228	138,915	54.53
軽 症	74	7,616	5,869	39,205	48,147	100,911	39.62
その他	0	13	5	45	112	175	0.07
計	687	10,824	8,654	75,536	159,027	254,728	100.0
構成比	0.27	4.25	3.40	29.65	62.43	100.0	

(3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況

令和4年中の救急出場件数 292,049 件について、現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の164,540件で全体の56.34%を占めている。

また、現場到着平均所要時間は、9.5分であり、全国平均より早く到着している。

現場到着所要時間別出場件数

令和4年中

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着平均所要時間	
							県	全国
急病	654	4,336	110,803	79,224	3,651	198,668	9.5	10.1
交通事故	81	408	8011	4,814	469	13,783	9.6	10.6
一般負傷	205	1,042	25,694	16,972	673	44,586	9.3	10.1
その他	547	1,688	20,032	11,949	796	35,012	9.1	9.4
計	1,487	7,474	164,540	112,959	5,589	292,049	9.5	10.3
構成比	0.51	2.56	56.34	38.68	1.91	100.0		

令和4年中の搬送人員 254,728 人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したのが下表である。

これによると、搬送人員のうち 75,330 人（29.57%）が 30 分未満で収容されていることになる。

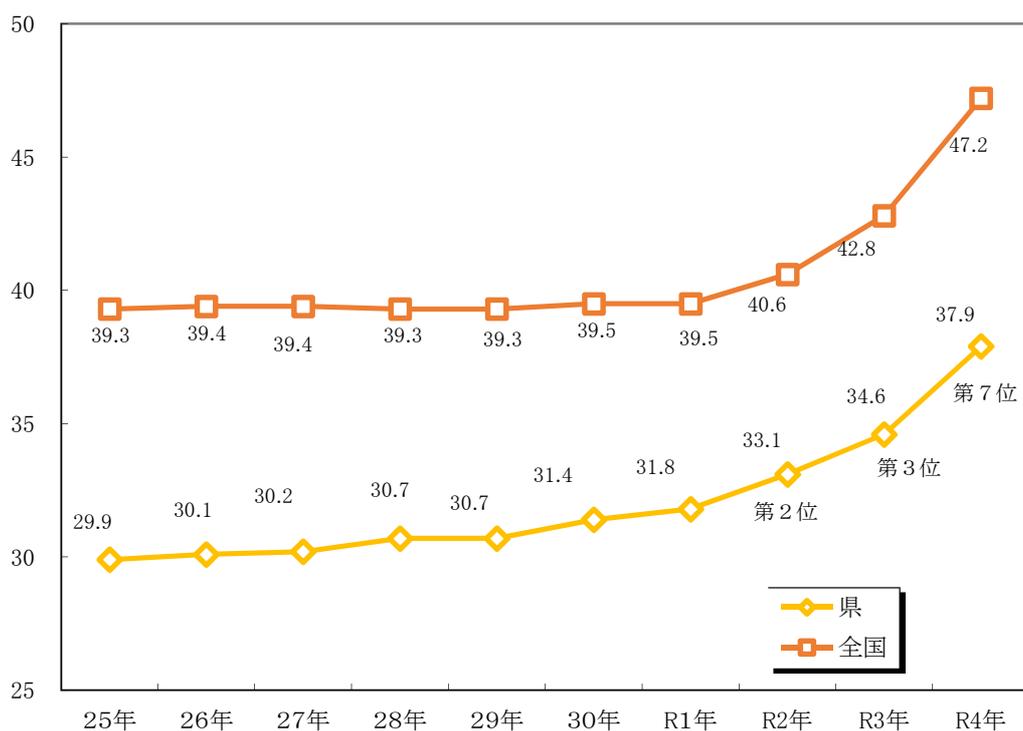
また、令和4年中において収容所要時間は全国で7番目の早さとなっている。

収容所要時間別搬送人員

令和4年中

区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	収容平均所要時間	
								県	全国
急病	10	2,913	44,510	112,025	12,355	775	172,588	38.7	47.5
交通事故	1	290	3,771	7,910	715	17	12,704	36.7	46.6
一般負傷	2	770	10,688	26,391	2,314	104	40,269	37.6	47.8
その他	13	2,090	10,272	15,251	1,486	55	29,167	34.3	43.4
計	26	6,063	69,241	161,577	16,870	951	254,728	37.9	47.2
構成比	0.01	2.38	27.18	63.43	6.62	0.38	100.00		

収容所要時間の推移及び全国における順位



(4) 医療機関別搬送人員の状況

令和4年中の搬送人員(254,728人)について、医療機関等への搬送人員の状況を示したものが第7-4表である。

総搬送人員のうち、救急告示医療機関へ搬送されたものは235,407人であり、全体の92.4%を占めている。

また、管外搬送の割合は、県内全体では20.9%であるが、過半を占めている地域(直方市、柳川市、筑後市、行橋市、中間市、糸島市、京築広域、直方鞍手広域、粕屋南部、粕屋北部)もある。

(5) 転送の状況

搬送人員のうち、1回以上の転送が行われた患者は376人(0.15%)である。

そのうち、転送回数が1回の患者は376人、転送回数2回以上の患者は0人である。

転送件数を理由別にみると、376件のうち処置困難が243件(64.6%)と最も多く、次いでその他71件(18.9%)、ベッド満床33件(8.8%)の順となっている。

転送回数別搬送人員の状況

令和4年中

区分	搬送人員	転送なし	転送					転送率
			合計	1回	2回	3回	4回以上	
急病	172,588	172,352	236	236	-	-	-	0.14
交通事故	12,704	12,692	12	12	-	-	-	0.09
一般負傷	40,269	40,204	65	65	-	-	-	0.16
その他	29,167	29,104	63	63	-	-	-	0.22
計	254,728	254,352	376	376	-	-	-	0.15

転送理由件数の状況

令和4年中

区分	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他	計
急病	30	11	1	1	141	1	49	234
交通事故	0	1	0	0	8	0	3	12
一般負傷	2	6	0	1	45	0	10	64
その他	1	2	0	1	49	0	9	62
計	33	20	1	3	243	1	71	372

(6) 高速自動車国道における救急活動状況

県内の高速自動車国道は、令和4年4月1日現在、九州自動車道 135.0 km、関門橋 9.4 km、東九州自動車道 45.5 km 及び大分自動車道 42.7 km である。

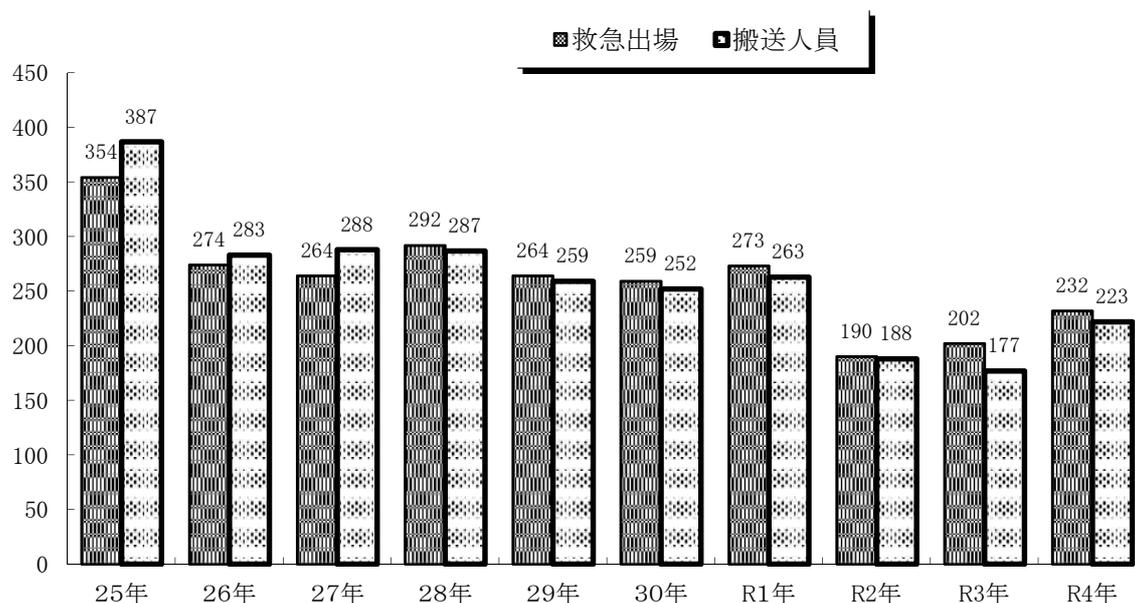
令和4年中の高速自動車国道における救急出場件数及び搬送人員は下表のとおりである。前年と比較すると、救急出場件数（232件）は30件増加しており、搬送人員（223人）については46人増加している。

高速自動車国道における救急活動状況

令和4年中

区分	関門自動車道	東九州自動車道				九州自動車道								大分自動車道	計		
	北九州市	北九州市	苅田町	行橋市	京築広域圏	北九州市	直方鞍手広域	粕屋北部	福岡市	筑紫野太宰府	久留米広域	八女地区	筑後市	みやま市		久留米広域	甘木朝倉広域
出場件数	3	2	3	8	11	32	31	14	12	52	12	21	4	3	7	17	232
搬送人員	3	1	2	3	9	36	28	13	17	50	10	25	5	2	6	13	223

最近10年間の高速自動車国道における救急出場件数及び搬送人員



### 3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るため、救急救命士制度が導入されるとともに、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大され、消防学校において、応急処置の内容の拡大を踏まえた救急課程が実施されているところである。

これに伴い、消防学校における救急課程教育の修了者も年々増加しているとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用されている。

また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成14年5月に消防機関、救急医療機関、医師会などで構成される福岡県救急業務メディカルコントロール協議会、県内4地域（福岡、北九州、筑後、筑豊）に地域救急業務メディカルコントロール協議会を設置し、本県における救急業務の高度化について協議・調整を行っている。

また、平成21年に改正された消防法に基づき、傷病者の搬送及び医療機関による受入れを適切かつ円滑に行うため、平成23年3月に「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」を策定した。

さらに、救急現場近くの一般住民による応急手当を促進するため、令和4年中に応急手当指導員、応急手当普及員が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。

（令和4年中の住民に対する応急手当講習会実施状況）

普通救命講習	1,094回	24,326名受講
上級救命講習	41回	875名受講
その他の講習	1,333回	43,035名受講
〃（救急入門コース）	568回	23,705名受講

## 救急業務高度化の推進状況

各年 4 月 1 日現在

区分		令和 5 年	令和 4 年	対前年比較	
				増減数	増減比
救急救命士運用消防本部数	本部	24	24	-	-
救急隊員数 (a)	人	1,972	1,952	20	1.0
うち救急救命士資格者 (b)	人	889	889	-	-
うち救急標準・Ⅱ課程修了者	人	1,083	1,056	27	2.6
救急自動車数 (d)	台	208	201	7	3.5
うち高規格車 (e)	台	205	199	6	3.0
薬剤投与認定者数	人	813	788	25	3.2
気管挿管認定者数	人	373	360	13	3.6

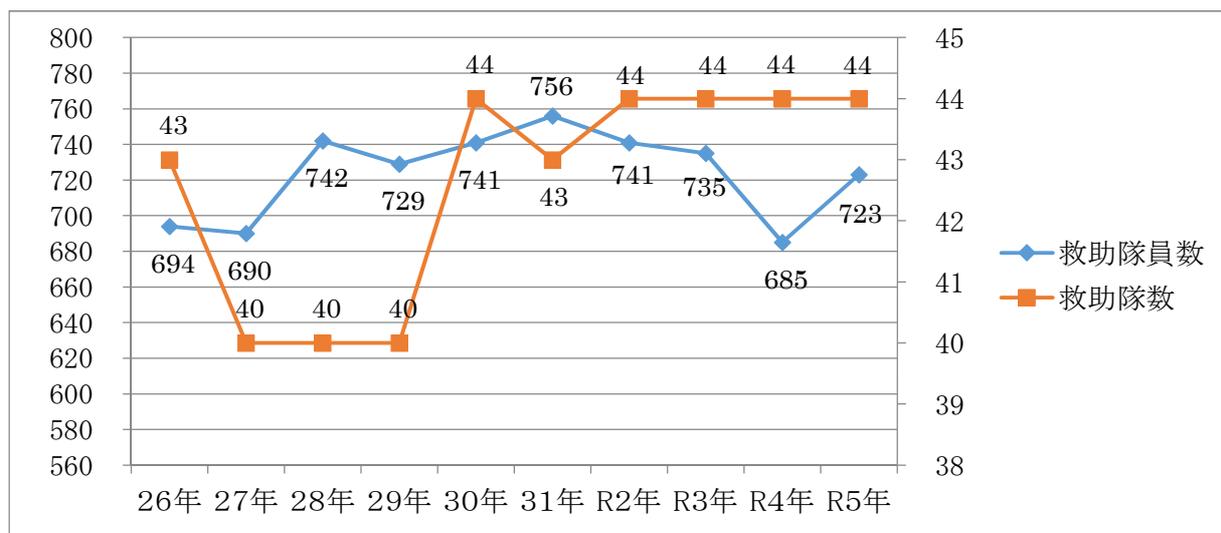
#### 4 救助業務実施体制

消防機関が行う救助活動を専門に実施する組織である救助隊は、救助活動に関する高度な専門教育を受けた隊員、救助活動に必要な資機材及びこれらの資機材を搭載した救助工作車等によって構成される。

消防常備市町村においては、救助隊は人命の救助に関する専門的な教育を受けた隊員 5 人以上で編成するように努めなければならないとされており、人口が 10 万人以上の消防常備市町村等においては特別救助隊を配置し、一般の救助隊よりも高度な装備を備えて人命の救助を行うこととされている。また、大規模な災害が多発している状況を踏まえ平成 18 年 4 月 1 日に「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」(以下「省令」という。)の一部改正が行われ、中核市等に高度救助隊、政令市等に特別高度救助隊が配置されることとなった。本県においては、北九州市と福岡市の両政令市に特別高度救助隊が配置されている。

令和 5 年 4 月 1 日現在、県内全消防本部で救助隊を編成しており、その隊数は 44 隊で、このうち 25 隊が特別救助隊である。救助隊員数は 723 人(専任 264 人、兼任 459)であり、前年 685 人(専任 261 人、兼任 424 人)と比較して 38 人増加している。

最近10年間における救助体制の推移



特別高度救助隊及び高度救助隊の配置状況

	省令第3条に定める救助隊				うち省令第4条に定める救助隊(特別救助隊)				うち省令第5条に定める救助隊(高度救助隊)				うち省令第6条に定める救助隊(特別高度救助隊)			
	隊数	専ら		隊員数	専ら	隊数	専ら		隊員数	専ら	隊数	専ら		隊員数	専ら	
		うち	任				うち	任				うち	任			うち
北九州市	7	0	105	0	7	0	105	0	2	0	30	0	2	0	30	0
福岡市	8	8	130	130	6	6	102	102	3	3	54	54	1	1	22	22
久留米広域	5	2	95	35	2	2	35	35	1	1	25	25	0	0	0	0

## 5 救助業務の実施状況

令和4年中における救助出動件数は、2,867件(対前年比214件増、対前年比8%増)で救助活動件数は、1,979件(同138件増、同7.5%増)、救助人員は、1,860人(同106人減、同5.39%減)である。

救助出動人員は、延べ37,542人となっており、うち消防職員については延べ36,012人で、その出動原因として建物等による事故が34.94%と最も多い。消防団員については延べ1,530人で、その出動原因として火災が70%を占める。

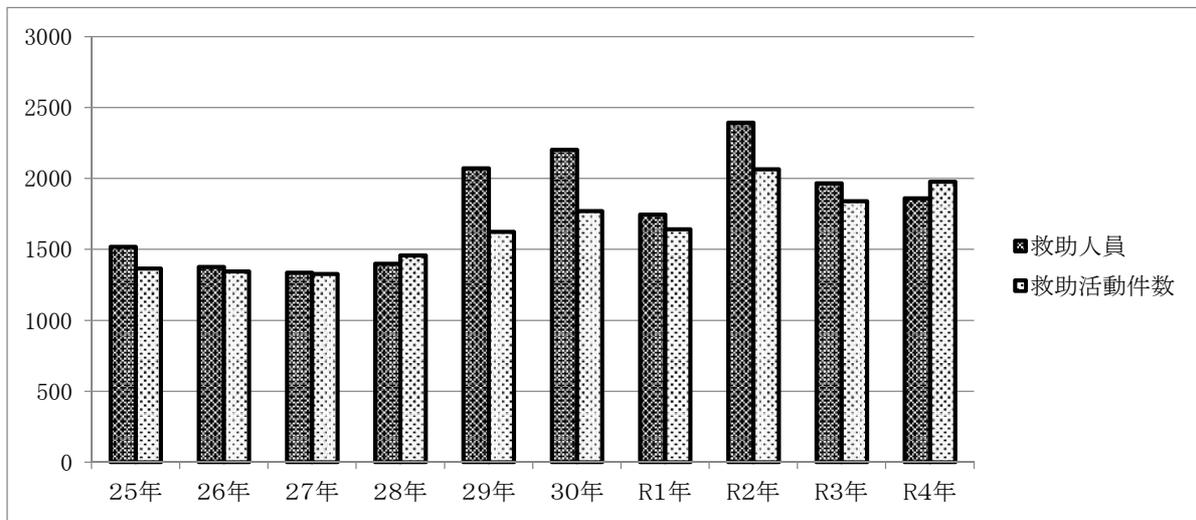
事故種別救助出動及び活動の状況

令和4年中

区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械等事故	建物等事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	計	
救助出動件数	96	534	158	1	39	1,422	27	0	590	2,867	
救助活動件数	96	307	123	0	26	996	22	0	409	1,979	
救助人員	42	349	120	0	26	813	19	0	491	1,860	
消防職員	出動人員	3,260	8,625	3,635	8	552	12,584	507	0	6,841	36,012
	活動人員	1,983	3,591	2,131	0	286	7,090	344	0	4,009	19,434
消防団員	出動人員	1,071	0	373	0	0	3	0	0	83	1,530
	活動人員	679	0	161	0	0	0	0	0	79	919

- (注) 1 救助出動件数とは、救助隊等が出動した件数  
 2 救助活動件数とは、救助隊等が実際に活動した件数  
 3 「出動人員」とは、救助活動を行うために出動した全ての人員をいう。  
 4 「活動人員」とは、出動人員のうち実際に救助活動を行った人員をいう。

最近10年間における救助業務の推移



6 救助隊の教育訓練

消防職員の救助活動に関する教育訓練については、高度かつ専門的な知識に加え実践的な技術の修得が不可欠であることから、消防学校等において専科教育（救助課程）が行われているほか、各消防本部においても、救助訓練を定期的実施している。

消防本部における救助隊員の訓練実施状況

令和4年中

区分	体力練成 訓練	ロープ 基本応用 訓練	検索救助 訓練	各種救助 器具取扱 訓練	各種救助 事象想定 訓練	その他 訓練	計
実施延回数	6,936	2,622	1,637	3,546	3,132	4,515	22,388
実施延人数	34,924	14,292	10,076	17,379	17,133	27,967	121,771
実施延時間	9,573	5,666.50	3,202.50	6,702.90	8,017.50	11,333.90	44,496.30

7 救助隊の装備

救助隊が備えるべき装備は、省令に規定されており、県内の消防本部における救助器具の保有状況は第7－9表のとおりである。



支援車の外観



車内の内装①



車内の内装②



車内の内装③

第7-1表 救急業務実施体制の状況

区 分	管内面積 <small>(4年3月31日現在)</small>	管内人口 <small>(令和2年国勢調査による)</small>	救急自動車台数					救急 隊数	救命 士運 用隊 数	救 急 隊 員 数							救 命 士 運 用 開 始 年 月 日	
			保有 数	うち非常用		うち 高規 格	救 急 隊 数			合 計	うち資格者・修了者				専 任	兼 任		うち 女性
				うち 高規 格	救 急 士						標 準 課 程	救 急 Ⅱ 課 程	救 急 Ⅰ 課 程					
県 計	4,987.64	5,141,350	208	38	35	205	169	169	1,972	889	1,025	51	7	967	1,005	60	24本部	
北 九 州 市	492.5	939,029	28	5	5	28	23	23	214	126	64	24	-	214	-	11	H4.7.1	
福 岡 市	343.47	1,612,392	41	8	8	41	33	33	311	180	122	8	1	311	-	12	H4.7.2	
大 牟 田 市	81.45	117,360	6	1	1	6	5	5	44	22	22	-	-	18	26	2	H11.8.1	
直 方 市	61.76	55,857	4	1	1	4	3	3	54	11	43	-	-	8	46	2	H10.11.1	
柳 川 市	77.15	64,475	4	0	0	4	4	4	64	26	33	4	1	-	64	-	H13.4.1	
筑 後 市	41.78	48,827	3	1	1	3	4	4	40	13	27	-	-	8	32	-	H12.8.1	
行 橋 市	70.06	71,426	5	1	1	5	4	4	45	20	25	-	-	31	14	-	H11.4.1	
中 間 市	15.96	40,362	5	2	1	4	3	3	41	15	26	-	-	-	41	-	H9.10.1	
み や ま 市	105.21	35,861	4	1	1	4	3	3	50	16	34	-	-	16	34	1	H13.6.21	
糸 島 市	215.69	98,877	5	0	0	5	4	4	45	21	24	-	-	9	36	2	H8.4.8	
苅 田 町	49.58	37,684	3	1	1	3	2	2	33	9	23	1	-	-	33	-	H11.4.1	
八 女 地 区	520.38	80,577	8	0	0	8	8	8	115	34	81	-	-	-	115	3	H8.2.1	
筑 紫 野 太 宰 府	117.33	176,475	7	2	2	7	5	5	62	37	25	-	-	26	36	1	H11.4.1	
飯 塚 地 区	369.21	174,715	9	2	0	7	7	7	91	31	51	5	4	39	52	2	H5.10.1	
春日大野城那珂川	115.99	263,220	8	2	2	8	6	6	54	37	17	-	-	54	-	4	H10.1.1	
田 川 地 区	363.73	117,958	6	0	0	6	5	5	105	26	79	-	-	10	95	2	H6.10.1	
久 留 米 広 域	467.83	452,986	20	4	4	20	16	16	132	84	48	-	-	132	-	6	H8.1.1	
京 築 広 域	450.12	73,862	7	1	1	7	6	6	98	31	67	-	-	-	98	2	H9.4.1	
直 方 鞍 手 広 域	189.87	48,529	5	0	0	5	5	5	71	25	43	2	1	-	71	1	H8.6.2	
甘 木 朝 倉 広 域	365.78	81,763	6	1	1	6	5	5	74	26	46	2	-	-	74	1	H11.3.1	
粕 屋 南 部	145.71	201,143	7	2	2	7	5	5	60	28	32	-	-	45	15	4	H9.1.1	
宗 像 地 区	172.7	164,128	7	1	1	7	6	6	53	30	22	1	-	17	36	2	H6.11.12	
粕 屋 北 部	61	92,455	5	1	1	5	3	3	72	20	50	2	-	9	63	2	H8.7.1	
遠 賀 中 間 広 域	93.38	91,389	5	1	1	5	4	4	44	21	21	2	-	20	24	-	H12.12.21	

令和5年4月1日現在

区 分	医 療 機 関 数								人口10 万人当 たりの救急 医療機 関数	現場到 着平均 所要時 間 (分)	収容平 均所要 時間 (分)	救 急 搬 送 件 数		
	合 計	救 急 告 示 医 療 機 関						その 他の 医療 機 関				令和4年中	令和3年中	対前 年 増 減 率 (%)
		小 計	国 立	公 立	公 的	私 的 病 院	診 療 所							
県 計	4,957	159	8	17	14	117	3	4,798	3.1	9.5	37.9	254,728	226,670	12.4
北 九 州 市	1037	25	4	4	3	14	0	1012	2.7	10.1	37.7	51,743	48,570	6.5
福 岡 市	1819	39	2	2	5	30	0	1780	2.4	9.4	37.9	80,152	68,748	16.6
大 牟 田 市	125	7	0	1	1	5	0	118	6.0	9.1	37.1	5,670	5,291	7.2
直 方 市	58	3	0	0	2	1	0	55	5.4	10.5	44.9	3,339	2,864	16.6
柳 川 市	54	2	0	0	0	2	0	52	3.1	8.4	37.9	3,050	2,602	17.2
筑 後 市	42	1	0	1	0	0	0	41	2.0	8.6	34.5	2,145	1,778	20.6
行 橋 市	65	2	0	1	0	1	0	63	2.8	8.4	33.3	3,057	2,758	10.8
中 間 市	29	1	0	0	0	1	0	28	2.5	6.9	41.6	2,484	2,348	5.8
み や ま 市	20	1	0	0	0	1	0	19	2.8	8.9	37.3	1,805	1,685	7.1
糸 島 市	64	4	0	1	0	3	0	60	4.0	8.9	43.3	4,513	3,954	14.1
苅 田 町	29	1	0	0	0	1	0	28	2.7	8.2	34.3	1,537	1,449	6.1
八 女 地 区	68	5	0	1	0	4	0	63	6.2	8.4	35.8	4,234	3,522	20.2
筑 紫 野 太 宰 府	134	2	0	0	1	1	0	132	1.1	9.4	36.4	8,115	6,904	17.5
飯 塚 地 区	156	6	0	1	2	3	0	150	3.4	10.9	43.8	8,254	7,611	8.4
春 日 大 野 城 那 珂 川	193	5	0	0	0	5	0	188	1.9	10.3	37.0	11,066	9,535	16.1
田 川 地 区	88	7	0	3	0	3	1	81	5.9	9.3	47.2	7,072	6,229	13.5
久 留 米 広 域	484	23	1	0	0	22	0	461	5.1	8.5	31.5	21,507	19,293	11.5
京 築 広 域	60	0	0	0	0	0	0	60	-	8.4	40.4	3,904	3,718	5.0
直 方 鞍 手 広 域	29	3	0	1	0	2	0	26	6.2	10.5	44.0	2,757	2,506	10.0
甘 木 朝 倉 広 域	64	4	0	0	0	3	1	60	4.9	11.0	42.0	3,828	3,475	10.2
粕 屋 南 部	107	8	0	0	0	8	0	99	4.0	10.1	42.0	8,854	7,691	15.1
宗 像 地 区	112	3	0	0	0	3	0	109	1.8	9.6	36.4	6,270	5,868	6.9
粕 屋 北 部	56	1	1	0	0	0	0	55	1.1	8.6	32.9	3,951	3,410	15.9
遠 賀 中 間 広 域	64	6	0	1	0	4	1	58	6.6	7.6	36.9	5,421	4,861	11.5

第7-2表 消防本部別・時間区分別救急出場件数

令和4年中

区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	
県計	292,049	565	32	163	13,783	2,064	1,514	44,586	945	2,465	198,668	22,828	37	200	4,199	
北九州市	59,719	53	27	34	2,154	323	250	9,473	206	471	41,521	4,058	4	190	955	
福岡市	94,791	154	3	41	4,642	592	455	13,611	379	924	65,869	6,277	1	2	1,841	
大牟田市	6,774	41	-	2	306	53	26	1,253	25	63	4,164	756	2	-	83	
直方市	3,662	1	-	2	156	26	14	595	14	29	2,402	410	-	-	13	
柳川市	3,341	3	1	1	144	32	17	472	9	16	2,286	343	-	-	17	
筑後市	2,309	6	-	1	148	16	19	344	8	17	1,500	244	-	-	6	
行橋市	3,527	10	-	6	161	10	12	448	9	27	2,462	360	-	-	22	
中間市	2,836	1	-	3	87	4	10	473	10	23	1,951	170	1	8	95	
みやま市	1,944	3	-	6	127	9	11	295	4	6	1,307	161	-	-	15	
糸島市	4,990	14	-	11	274	44	23	833	11	25	3,175	561	-	-	19	
苅田町	1,690	-	-	6	127	34	11	215	5	26	1,179	68	3	-	16	
八女地区	4,372	4	-	4	236	42	16	771	9	28	2,748	496	-	-	18	
筑紫野太宰府	8,904	10	1	1	485	68	53	1,450	17	73	5,987	724	1	-	34	
飯塚地区	9,961	47	-	1	430	73	52	1,279	46	74	6,716	1,233	1	-	9	
春日大野城那珂川	12,443	18	-	2	658	108	82	1,901	25	120	8,486	930	24	-	89	
田川地区	8,090	26	-	5	341	34	20	1,075	28	40	5,291	842	-	-	388	
久留米広域	23,525	26	-	14	1,325	169	182	3,907	61	208	15,327	1,946	-	-	360	
京築広域	4,220	31	-	1	236	33	25	734	4	15	2,823	277	-	-	41	
直方鞍手広域	3,078	45	-	1	166	39	17	444	7	29	1,992	332	-	-	6	
甘木朝倉広域	4,240	5	-	1	260	96	17	653	5	30	2,815	342	-	-	16	
粕屋南部	9,835	21	-	6	532	121	63	1,494	37	83	6,488	962	-	-	28	
宗像地区	7,546	29	-	7	317	53	84	1,261	10	63	5,053	606	-	-	63	
粕屋北部	4,399	5	-	3	274	67	35	668	9	30	2,996	282	-	-	30	
遠賀中間広域	5,853	12	-	4	197	18	20	937	7	45	4,130	448	-	-	35	
時間区分	0~2	14,098	28	-	4	284	26	3	1,685	135	179	10,968	443	-	3	340
	2~4	11,150	44	1	5	226	21	2	1,270	110	112	8,746	335	1	7	270
	4~6	11,165	19	-	2	312	27	-	1,287	71	111	8,867	232	1	3	233
	6~8	18,690	29	2	18	1,141	89	7	2,767	56	176	13,809	282	2	5	307
	8~10	32,758	37	3	19	1,828	328	72	5,715	43	191	22,113	1,999	6	25	379
	10~12	35,782	53	10	20	1,582	413	374	5,765	42	223	21,956	4,896	2	26	420
	12~14	33,102	63	7	15	1,595	313	285	5,093	39	239	20,394	4,655	3	33	368
	14~16	30,670	78	6	30	1,592	401	270	4,849	52	244	19,138	3,603	3	34	370
	16~18	30,686	69	2	26	1,994	230	190	5,035	55	248	19,061	3,332	10	26	408
	18~20	29,460	67	1	14	1,699	124	148	4,828	84	267	20,354	1,479	1	16	378
	20~22	24,946	36	-	7	961	51	121	3,625	116	233	18,524	892	4	10	366
	22~24	19,542	42	-	3	569	41	42	2,667	142	242	14,738	680	4	12	360

第7-3表 消防本部別・時間区分別救急搬送人員

令和4年中

区 分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 為	急 病	そ の 他	
県 計	254,728	177	32	64	12,704	1,962	1,448	40,269	684	1,665	172,588	23,135	
北 九 州 市	51,743	43	27	15	1,980	316	248	8,530	148	295	36,092	4,049	
福 岡 市	80,152	35	3	14	4,104	559	426	12,000	253	639	55,794	6,325	
大 牟 田 市	5,670	6	-	-	238	47	22	1,108	16	42	3,438	753	
直 方 市	3,339	1	-	1	159	22	11	552	11	22	2,149	411	
柳 川 市	3,050	3	1	1	139	30	17	435	8	9	2,065	342	
筑 後 市	2,145	-	-	-	139	16	18	352	8	15	1,356	241	
行 橋 市	3,057	-	-	1	134	10	11	424	7	15	2,093	362	
中 間 市	2,484	1	-	1	81	4	10	440	9	17	1,751	170	
み や ま 市	1,805	2	-	2	130	9	12	277	2	4	1,206	161	
糸 島 市	4,513	5	-	3	248	44	23	778	8	15	2,828	561	
苅 田 町	1,537	-	-	3	122	34	11	200	5	14	1,081	67	
八 女 地 区	4,234	4	-	3	260	41	16	758	9	18	2,630	495	
筑 紫 野 太 宰 府	8,115	3	1	-	471	65	53	1,332	14	50	5,402	724	
飯 塚 地 区	8,254	12	-	1	368	65	46	1,093	27	49	5,366	1,227	
春日大野城那珂川	11,066	5	-	-	621	102	80	1,756	20	79	7,467	936	
田 川 地 区	7,072	7	-	3	320	33	18	981	21	27	4,530	1,132	
久 留 米 広 域	21,507	26	-	6	1,310	161	183	3,686	56	160	13,975	1,944	
京 築 広 域	3,904	5	-	-	235	33	24	691	3	5	2,628	280	
直 方 鞍 手 広 域	2,757	-	-	-	149	38	16	420	6	18	1,780	330	
甘 木 朝 倉 広 域	3,828	4	-	-	253	90	17	575	4	18	2,526	341	
粕 屋 南 部	8,854	3	-	2	505	117	59	1,335	28	58	5,796	951	
宗 像 地 区	6,270	7	-	5	289	47	75	1,045	8	38	4,156	600	
粕 屋 北 部	3,951	1	-	2	256	62	32	598	8	24	2,689	279	
遠 賀 中 間 広 域	5,421	4	-	1	193	17	20	903	5	34	3,790	454	
時 間 区 分	0~2	11,565	10	0	3	259	25	3	1424	92	145	9151	453
	2~4	9,150	23	1	2	209	20	2	1103	80	76	7283	351
	4~6	9,360	3	0	0	298	27	0	1135	51	78	7521	247
	6~8	16,268	7	2	5	1051	81	7	2546	40	110	12101	318
	8~10	29,751	6	3	7	1691	312	66	5464	33	113	19988	2068
	10~12	32,127	18	10	8	1452	396	357	5329	31	134	19460	4932
	12~14	29,550	11	7	5	1482	301	272	4614	30	149	17999	4680
	14~16	27,097	25	6	14	1488	376	253	4375	38	172	16730	3620
	16~18	27,115	24	2	10	1817	215	185	4510	41	158	16797	3356
	18~20	25,388	27	1	7	1564	119	143	4287	63	194	17480	1503
	20~22	21,007	7	0	1	857	49	117	3153	88	167	15658	910
	22~24	16,350	16	0	2	536	41	43	2329	97	169	12420	697

第7-4表 医療機関別搬送人員

令和4年中

区 分	合 計	うち 管外 搬送	医 療 機 関												その他 の場所
			救 急 告 示 医 療 機 関						そ の 他 の 医 療 機 関						
			小 計	国 立	公 立	公 的	私 的		小 計	国 立	公 立	公 的	私 的		
							病 院	診 療 所					病 院	診 療 所	
県 計	254,728	53,363	235,407	19,886	14,647	29,797	171,057	20	19,281	1,053	3,781	2,207	9,962	2,278	40
北 九 州 市	51,743	3,615	47,650	9,518	26	6,601	31,505	0	4,089	3	103	1,822	1,966	195	4
福 岡 市	80,152	5,915	75,412	5,687	3,077	9,323	57,320	5	4,733	355	2,274	44	1,390	670	7
大 牟 田 市	5,670	340	5,417	5	1,535	534	3,343	0	252	51	1	0	106	94	1
直 方 市	3,339	2,194	3,268	19	576	667	2,006	0	63	0	3	0	18	42	8
柳 川 市	3,050	1,611	2,850	8	153	24	2,665	0	200	6	3	0	64	127	0
筑 後 市	2,145	1,200	2,079	2	1,330	2	745	0	66	3	0	0	57	6	0
行 橋 市	3,057	1,556	2,978	132	71	98	2,677	0	79	0	10	1	41	27	0
中 間 市	2,484	2,319	2,372	3	153	546	1,670	0	112	0	6	0	90	16	0
み や ま 市	1,805	836	1,759	0	432	51	1,276	0	45	7	0	0	37	1	1
糸 島 市	4,513	3,006	3,920	45	538	727	2,596	14	587	2	44	7	405	129	6
苅 田 町	1,537	549	1,487	232	2	0	1,253	0	50	1	25	0	12	12	0
八 女 地 区	4,234	1,036	4,067	1	1,805	6	2,255	0	167	2	0	0	159	6	0
筑 紫 野 太 宰 府	8,115	2,472	7,237	115	52	2,920	4,150	0	878	185	14	3	469	207	0
飯 塚 地 区	8,254	740	6,101	35	1,431	393	4,241	1	2,145	46	825	196	956	122	8
春 日 大 野 城 那 珂 川	11,066	4,383	10,307	62	62	2,339	7,844	0	759	353	10	2	217	177	0
田 川 地 区	7,072	2,053	6,832	28	486	3,592	2,726	0	240	0	23	16	96	105	0
久 留 米 広 域	21,507	1,196	18,656	33	293	59	18,271	0	2,851	6	38	9	2,661	137	0
京 築 広 域	3,904	3,885	3,531	21	792	6	2,712	0	373	1	29	47	247	49	0
直 方 鞍 手 広 域	2,757	1,683	2,410	55	125	404	1,826	0	346	1	3	0	327	15	1
甘 木 朝 倉 広 域	3,828	1,700	3,662	4	4	60	3,594	0	166	0	2	1	159	4	0
粕 屋 南 部	8,854	4,985	8,469	505	1,088	611	6,265	0	385	21	130	12	146	76	0
宗 像 地 区	6,270	1,986	5,821	1,367	3	20	4,431	0	447	5	182	37	202	21	2
粕 屋 北 部	3,951	2,075	3,832	1,949	114	14	1,755	0	118	4	43	9	40	22	1
遠 賀 中 間 広 域	5,421	2,028	5,290	60	499	800	3,931	0	130	1	13	1	97	18	1

第7-5表 転送理由別転送件数

令和4年中

区 分	合 計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
県 計	372	33	20	1	3	243	1	71
北 九 州 市	31	1	2	1	-	20	1	6
福 岡 市	78	14	2	-	-	56	-	6
大 牟 田 市	27	-	6	-	-	19	-	2
直 方 市	3	1	-	-	-	2	-	-
柳 川 市	17	-	-	-	-	15	-	2
筑 後 市	1	-	1	-	-	-	-	-
行 橋 市	-	-	-	-	-	-	-	-
中 間 市	3	-	-	-	1	2	-	-
み や ま 市	8	-	-	-	-	8	-	-
糸 島 市	21	4	1	-	-	7	-	9
苅 田 町	1	-	-	-	-	1	-	-
八 女 地 区	11	3	-	-	-	5	-	3
筑紫野太宰府	18	-	1	-	-	12	-	5
飯 塚 地 区	27	-	1	-	2	18	-	6
春日大野城那珂川	11	-	1	-	-	10	-	-
田 川 地 区	17	2	-	-	-	9	-	6
久 留 米 広 域	28	2	1	-	-	17	-	8
京 築 広 域	3	-	-	-	-	3	-	-
直方鞍手広域	13	1	-	-	-	5	-	7
甘木朝倉広域	23	2	-	-	-	15	-	6
粕 屋 南 部	13	1	2	-	-	10	-	-
宗 像 地 区	12	2	1	-	-	5	-	4
粕 屋 北 部	2	-	-	-	-	1	-	1
遠 賀 中 間 広 域	4	-	1	-	-	3	-	-

※転送理由が複数ある場合は、複数件で計上しているケースもあるため、第7-6表とは一致していない。

第7-6表 医療機関別転送人員

令和4年中

区 分	合 計	うち 管外 搬送	医 療 機 関												その 他の 場所
			救 急 告 示 医 療 機 関						そ の 他 の 医 療 機 関						
			小 計	国 立	公 立	公 的	私 的		小 計	国 立	公 立	公 的	私 的		
病 院	診 療 所	病 院					診 療 所								
県 計	376	184	329	35	37	56	201	-	47	5	6	-	32	4	-
北 九 州 市	31	5	30	5	-	6	19	-	1	-	-	-	-	1	-
福 岡 市	82	6	79	15	7	14	43	-	3	2	-	-	1	-	-
大 牟 田 市	27	12	21	-	11	1	9	-	6	1	-	-	5	-	-
直 方 市	3	3	3	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
柳 川 市	17	13	15	1	2	-	12	-	2	-	-	-	2	-	-
筑 後 市	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
行 橋 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中 間 市	3	3	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
み や ま 市	8	7	7	-	1	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-
糸 島 市	21	20	18	2	-	6	10	-	3	-	1	-	2	-	-
苅 田 町	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八 女 地 区	11	7	10	-	2	-	8	-	1	-	-	-	1	-	-
筑 紫 野 太 宰 府	18	13	13	1	1	5	6	-	5	-	-	-	3	2	-
飯 塚 地 区	27	14	18	-	6	5	7	-	9	2	2	-	5	-	-
春 日 大 野 城 那 珂 川	11	5	11	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-
田 川 地 区	17	13	16	1	1	5	9	-	1	-	-	-	1	-	-
久 留 米 広 域	28	2	22	1	1	-	20	-	6	-	-	-	5	1	-
京 築 広 域	3	3	2	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-
直 方 鞍 手 広 域	13	10	13	-	-	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-
甘 木 朝 倉 広 域	23	20	21	1	-	-	20	-	2	-	-	-	2	-	-
粕 屋 南 部	13	11	12	1	5	4	2	-	1	-	-	-	1	-	-
宗 像 地 区	12	9	7	5	-	-	2	-	5	-	3	-	2	-	-
粕 屋 北 部	2	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遠 賀 中 間 広 域	4	4	4	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

第7-7表 応急手当指導員等養成講習の状況

【指導員】

区 分		講 習 修 了 者 数						登録を抹消した者	講習回数
		計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
令和4年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	202	197	1	4	-	-	13	12
	応急手当指導員講習Ⅱ	39	30	2	7	-	-	11	6
	応急手当指導員講習Ⅲ	-	-	-	-	-	-	-	-
	消防長認定者	7	7	-	-	-	-	2	-
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	9	9	-	-	-	-	-	-
	計	257	243	3	11	-	-	26	18
前年までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	4,318	3,702	521	14	81	-	285	178
	応急手当指導員講習Ⅱ	1,111	955	4	152	-	-	202	58
	応急手当指導員講習Ⅲ	1,026	-	-	-	-	1,026	-	79
	消防長認定者	161	123	-	35	1	2	7	-
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	47	22	-	-	25	-	-	-
	計	6,663	4,802	525	201	107	1,028	494	315
合 計		6,920	5,045	528	212	107	1,028	520	333

【普及員】

区 分		講 習 修 了 者 数						登録を抹消した者	講習回数
		計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
令和4年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	682	-	-	74	1	607	262	41
	応急手当普及員講習Ⅱ	-	-	-	-	-	-	4	-
	消防長認定者	1	1	-	-	-	-	1	-
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	683	1	-	74	1	607	267	41
前年までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	9,062	4	-	2,858	174	6,026	3,210	488
	応急手当普及員講習Ⅱ	-	-	-	-	-	-	-	-
	消防長認定者	58	23	1	-	34	-	7	-
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	9,120	27	1	2,858	208	6,026	3,217	488
合 計		9,803	28	1	2,932	209	6,633	3,484	529

第7-8表 救助業務実施体制・実施状況

令和5年4月1日現在

区 分	救助工作車保有台数					令第3条に定める救助隊				うち令第4条に定める救助隊 (特別救助隊)				令和4年中の救助活動				
	計	Ⅱ 型	Ⅲ 型	Ⅳ 型	そ の 他	隊数	うち 専任	隊員 数	うち 専任	隊数	うち 専任	隊員 数	うち 専任	救助 出動 件数	救助 活動 件数	うち 火災	うち 交通 事故	救助 人員
県 計	98	24	12	3	59	44	19	723	264	25	16	394	243	2,867	1,979	96	307	1,860
北 九 州 市	7	2	-	-	5	7	-	105	-	7	-	105	-	326	244	16	45	263
福 岡 市	60	18	12	-	30	8	8	130	130	6	6	102	102	1,112	778	15	36	635
大 牟 田 市	1	-	-	-	1	1	1	15	15	1	1	15	15	65	47	7	10	39
直 方 市	1	-	-	-	1	1	-	16	-	-	-	-	-	30	24	-	8	34
柳 川 市	1	-	-	-	1	1	-	10	-	-	-	-	-	29	17	-	2	17
筑 後 市	3	-	-	-	3	1	1	8	4	-	-	-	-	22	12	-	4	32
行 橋 市	1	-	-	-	1	1	-	12	-	-	-	-	-	21	18	-	7	17
中 間 市	1	-	-	-	1	1	-	12	-	-	-	-	-	9	8	-	2	8
み や ま 市	1	-	-	-	1	1	-	49	-	-	-	-	-	20	9	-	4	50
糸 島 市	1	1	-	-	-	1	-	12	-	-	-	-	-	52	35	1	7	39
苅 田 町	1	-	-	-	1	1	-	33	-	-	-	-	-	20	19	-	3	24
八 女 地 区	1	-	-	-	1	1	-	29	-	1	-	29	-	46	24	-	5	30
筑 紫 野 太 宰 府	1	-	-	-	1	1	1	12	12	1	1	12	12	101	56	-	8	62
飯 塚 地 区	2	-	-	-	2	2	1	34	-	1	1	20	20	79	66	32	17	42
春日大野城那珂川	1	1	-	-	-	1	1	15	15	1	1	15	15	124	73	-	3	71
田 川 地 区	1	-	-	-	1	1	1	10	10	1	1	10	10	125	72	17	15	55
久 留 米 広 域	6	1	-	3	2	5	2	95	35	2	2	35	35	282	202	4	50	175
京 築 広 域	1	-	-	-	1	1	-	12	-	-	-	-	-	35	22	-	10	17
直 方 鞍 手 広 域	1	-	-	-	1	1	-	17	-	1	-	17	-	24	15	-	10	17
甘 木 朝 倉 広 域	1	-	-	-	1	1	-	10	-	-	-	-	-	66	45	1	18	47
粕 屋 南 部	2	1	-	-	1	2	2	21	21	2	2	12	12	95	60	2	18	58
宗 像 地 区	1	-	-	-	1	2	1	32	22	1	1	22	22	86	56	1	8	47
粕 屋 北 部	1	-	-	-	1	1	-	18	-	-	-	-	-	58	40	-	5	41
遠 賀 中 間 広 域	1	-	-	-	1	1	-	16	-	-	-	-	-	40	37	-	12	40

第7-9表 救助隊の装備状況

区 分	省 令 別 表 第 1 に 定 め る 装 備																		
	一般救助器具		重量物排除用器具			切断用器具				測定器具	呼吸補助器具	保護器具					その他の器具		
	三連はしご	救命素発射銃	油圧ジャッキ	油圧スプレッダー	可搬ウインチ	油圧切断機	エンジンカッター	ガス溶断機	チェーンソー	可燃性ガス測定器	空気呼吸器	耐電手袋	防護服(化学防護服を除く)	化学防護服	陽圧式化学防護服	耐熱服	放射線防護服	潜水器具	携帯拡声器
県 計	60	42	59	23	65	33	81	37	78	68	327	184	401	131	25	63	257	102	176
北九州市	14	-	7	0	10	0	18	7	18	10	64	14	70	40	4	6	0	23	42
福岡市	10	11	8		14		21	9	20	13	53	18	72	25	9	20	38	16	40
大牟田市	2	1	3	1	2	1	1	1	2	2	8	9	5	5	0	6	9	2	5
直方市	1	1	2	2	2	4	1	1	1	1	5	2	2	3			15	1	
柳川市	2	1	1	1	2	2	2	1	2	1	8	5	10	4	4	0	14	2	3
筑後市	1	1	1	1	1	1	1		1	1	8	2		0		0	2	1	1
行橋市	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	6	0	0	0	0	7	2	4
中間市	1	1	1	1	1	1	1		1	3	5	10	3					2	3
みやま市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	2	3	3			19	1	
糸島市	1	1	2	0	1	0	1	0	2	5	5	5	0	5	0	0	12	1	5
苅田町	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	4	2	5	0	0	0	6	1	1
八女地区	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	15	3	0	2	0	2	2	0	2
筑紫野太宰府	1	1	5	1	3	1	2	1	3	2	7	4	8	3	2	4	6	2	4
飯塚地区	2	3	2		4		2	2	2	3	8	6	15	6		6	6	2	8
春日大野城那珂川	1	1	2	0	1	2	2	1	2	1	5	12		6	0		18	1	6
田川地区	1	1	2	1	2	2	2	1	2	2	9	7	18	9	2	2	18	2	1
久留米広域	6	4	10	6	6	7	11	2	5	6	50	26	142	10	2	9	25	19	31
京築広域圏	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4					11	2	
直方鞍手広域	1	3	1	0	2	0	1	1	1	1	4	5	0	0	0	0	14	2	1
甘木朝倉広域	2	1	1	0	2	0	1	1	1	1	17	5	2	2	0	4	6	3	2
粕屋南部	2	2	2	0	2	2	2	2	2	4	12	13	6	4	0	2	10	4	11
宗像地区	3	2	2	0	2	2	2	1	6	3	13	10	36	2	2	2	10	6	3
粕屋北部	2	1	1	2	1	2	3		1	3	13	9	4	2			5	5	1
遠賀中間広域	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	4	5	0	0	0	0	4	2	2

令和5年4月1日現在

省令別表第2に定める装備																省令別表第3に定める装備		区分
重量物排除器具		切断用器具		破壊用器具		測定用器具			呼吸補助器具		保護器具			その他の器具		高度救助用器具		
ジャット型空気	ス大ブ型油圧	空気鋸	大型油圧切断機	削岩機	ハンマドリル	有毒ガス測定器	酸素濃度測定器	放射線測定器	酸素呼吸器	送排風機	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	緩降機	ロープ登降機	画像探索機	熱画像直視装置	
59	52	48	51	61	54	49	62	124	50	45	115	105	115	16	108	22	47	県計
8	13	8	16	19	12	0	10	10	35	8	14	14	14	0	35	4	9	北九州市
9	9	5	9	13	10	3	13	4		3	18	18	18		50	5	11	福岡市
1	1	3	1	0	2	2	1	5	0	2	5	5	5	0	0	1	0	大牟田市
1		1		1	1		1			1	2	2	2					直方市
5	2	1	1	1	0	1	1	0	0	1	2	2	2	1	0	0	1	柳川市
1		1				1	1	1		1	2	2	2	0			0	筑後市
1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1	2	0	2	0	0	1	0	行橋市
1	1		1	1	1	3	3			1					1			中間市
1	1	1		1	1		1			1	2	2	2					みやま市
1	2	2	2	1	1	5	5	0	0	1	5	5	5	0	0	0	1	糸島市
1	1	1	1	1	1	0	0	7	0	1	2	2	2	1	0	1	1	苅田町
1	0	1	0	1	0	2	1	1	0	1	4	0	2	0	0	0	0	八女地区
1	2	1	2	1	1	4	2	9	0	2	4	4	4	0	0	1	1	筑紫野太宰府
2	2	2	2	2	3	4	3	8	4	3	5	5	5	2	5	1	1	飯塚地区
1	1	1	1	1	2			11	2	1	2	2	2	1		1	1	春日大野城那珂川
2	2	1	2	3	1	2	2	2	0	1	5	5	5	2	3	1	1	田川地区
7	6	5	6	5	6	6	6	48	0	8	17	9	17	4	0	2	4	久留米広域
1		1		1	1	1	1	1		1		4	2	1	4	1	1	京築広域圏
1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	1	5	5	5	0	0	1	1	直方鞍手広域
7	2	2	1	2	3	1	1	1	5	1	2	2	2	1	2	0	0	甘木朝倉広域
2	2	2	2	2	3	3	4	10	2	2	4	4	4	1	6	1	2	粕屋南部
2	3	5	2	3	3	3	0	5	2	1	8	8	8	2	0	0	10	宗像地区
1						3	3	1		1	5	5	5		2	1	1	粕屋北部
1	1	1	1	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	遠賀中間広域

